

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成22年3月25日 (2010.3.25)

【公開番号】特開2008-195793(P2008-195793A)

【公開日】平成20年8月28日 (2008.8.28)

【年通号数】公開・登録公報2008-034

【出願番号】特願2007-30988(P2007-30988)

【国際特許分類】

C 0 8 F 12/16 (2006.01)

B 0 1 J 20/281 (2006.01)

G 0 1 N 30/02 (2006.01)

G 0 1 N 30/88 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 12/16

B 0 1 J 20/26 L

G 0 1 N 30/02 B

G 0 1 N 30/88 1 0 1 S

G 0 1 N 30/88 1 0 1 M

G 0 1 N 30/88 2 0 1 X

G 0 1 N 30/88 2 0 1 G

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月4日 (2010.2.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

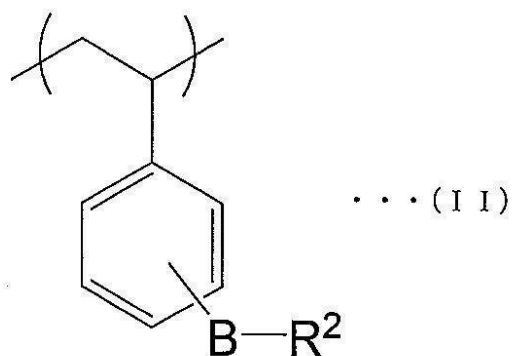
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記一般式 ( I I ) で表される構成単位を有する化合物。

【化 2】



一般式 ( I I ) 中、B は直接結合または炭素数 1 以上 4 以下のアルキレン基を示す。R<sup>2</sup> はハロゲン原子が 2 個以上置換されている芳香族基を示す。

【請求項 2】

前記ハロゲン原子が臭素原子である請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の化合物を用いて形成された架橋重合体粒子。

## 【請求項 4】

重量平均粒子径が  $0.1\text{ }\mu\text{m}$  以上  $3000\text{ }\mu\text{m}$  以下であり、且つ均一係数が  $1.7$  以下であることを特徴とする請求項 3 に記載の架橋重合体粒子。

## 【請求項 5】

請求項 3 または 4 に記載の架橋重合体粒子を用いて形成された吸着剤。